

2019年12月07日

## 2019年SDG Mistresa RT HARC-PRO.チーム体制



2019シーズンに全日本ロードレース選手権 ST600 クラス、MFJ カップ JP250 クラスに参戦した Mistresa RT HARC-PRO.は、チーム名に『SDG』を加えた SDG Mistresa RT HARC-PRO.として、来る 2019 シーズンを下記の体制で戦うこととなりましたのでここに発表させていただきます。

### 全日本ロードレース選手権シリーズ

ST600 クラス 上原大輝 Honda CBR600RR

(2018 年全日本選手権 ST600 クラス シリーズランキング 11 位)

J-GP2 クラス 榎戸育寛 HP6q

(2018 年全日本選手権 J-GP2 クラス シリーズランキング 7 位)

### MFJ カップシリーズ

JP250 クラス 赤間 清 Honda CBR250RR

(2018 年 MFJ カップ JP250 クラス シリーズランキング 11 位 (インター))

### 本田重樹 HARC-PRO. レーシングチーム代表

「勝ったレースから学ぶことは少ないが、負けたレースは多くを学ぶ。我々がレースに勝つことは、一般の仕事でいえば業務完了。負けた時は、仕事が間に合わない、精度が基準に達していない、ということと同じ。一般社会でコンマ1秒の遅れは問題ではありませんが、我々のレースでは負けとなります。その差がコンマ1秒ではなく、例え100分の1秒でも負け。レースでの2位は、負けた奴の中で一番速かっただけに過ぎない。私たちは“負け方”を大事にします。同じ負けでも大差の負けは原因が掴みやすいが、僅差の負けは難しい。製造業と同じ、1ミリ単位での誤差は原因究明が掴みやすいが、100分台の誤差を埋めるのは容易ではない。仕事もレースも基本は同じだと思う。携わる全ての皆さんが仕事の本質的な部分を共有出来れば幸いです。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。」

柏木健作 昭和電機グループ CEO

「2014 年からコーポレートカラーをミストレーサーブルーに変更。モーターサイクルレースの格好良さを積極的に採り入れたプロモーションを同時展開し、2014 年売り上げ 60 億円から、2018 年の売り上げ見込みが 87 億円と、弊社の売り上げは約 1.5 倍の伸びとなりました。2018 年全日本最終戦の昭和電機グループ応援ツアーも 1400 人の動員となり、企業のイメージアップが、直接的に売り上げアップに繋がることを実感しています。モーターサイクルレースの秘めるポテンシャルは、まだまだ大きいと感じています。こうしたことが可能となっているのはひとえに、チーム運営をいただいているハルク・プロの本田会長、本田社長始め、スタッフの皆さんのおかげと心より感謝しています。2019 年は新たに榎戸育寛選手を迎え入れ、三名体制となります。チーム名も、昭和電機グループの『SDG』を新たに加えることになりました。引き続きご支援いただけますよう宜しくお願いいたします。」

2019 年全日本選手権・MFJ カップは、4 月 6 日・7 日に第 1 戦ツインリンクもてぎ（栃木県）でスタートし、最終戦は 11 月 2 日・3 日鈴鹿サーキット（三重県）と、全 8 戦（MFJ カップは 6 戦）で行われます。



<このリリースの問い合わせ>

昭和電機株式会社 営業推進部 072-870-5708